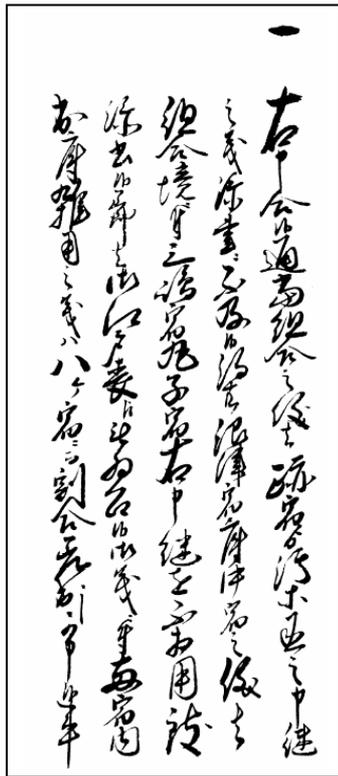


同じ字を探す 1



(d)は最初の  は、「申」です。次の  継 は、
 難しい字です。偏が「彳」か「辶」。旁に  申 とい
 うパーツがあり、「米」や「未」という感じに見
 えます。また、この字の下には  というパー
 ツがあり、これは「之」や「彳」にありそうな崩
 し方です。これらを総合すると、ますますよくわ
 からなくなってしまいます。

このようなときは、同じ文書の中から同じ字
 (同じ崩し)を探すのが有効です。右に全文が載っ
 ている、少し小さくて見にくいですが、3行目の
 下の方に(d)#という部分があります。この3文



字目にある  継 という字は、(d)の  継 と同じ字のようです
 (その前の字も両方とも「申」ですから同じ用語ではないかとわ
 かります)。しかも、(d)#の方なら、よく見れば、「継」という字
 ではないか、と思ひ当たる方もいらっしゃるのではないでしようか。^{もうしつぎ}「申継」
 で意味も通ります。つまり、 の部分は、ここでは「之」や「彳」ではな
 く、 だったということになります。(d)#が「継」なら、(d)も「継」と読め
 ることになります。



次の  は「之」で、次の  は「義」です。  添 は、字の感じから「添」

という字が思い当たります。次の  書 は、一見すると「事」に見えますが、これは「書」と

いう字です。下の「日」がないじゃないか、という感じもしますが、  も「書」という崩
 しです。^{そえがき}「添書」で意味も通ります。次の  は「二」です。次の  ふ は「ふ」に見えますが、
 「不」です。平仮名の「ふ」は「不」という字の崩しなのです。次の  及 は、「及」で、^{およばず}「不及」
 となります。  候 は「候」です。  共 は難しいですが、次の  共 は「共」と読めますので、「候

共」で、よくある言い回しでは「そうらえども」となりそうですので、  得 は「得」では
 ないか、と予想できます。くずし字辞典などで調べると、  得 は「得」という字です。(d)
 をまとめると、「申継之義、添書二及ばず候得共」となります。